

志木市地区別防災ガイドブック

本町地区

災害による被害をできる限り少なくするために、一人ひとりが
自らの命を自らが守るという意識をもつことが大切です

「志木市地区別防災ガイドブック」を使って、難を避けるための
事前の準備をはじめましょう



「平常時の荒川堤外」

災害時には予期せぬ突然の増水も発生します
豪雨の時は河川に近づかず、早めに避難すると
いった防災意識を徹底しましょう

〔令和元年東日本台風(台風第19号)荒川堤外の様子〕

もくじ

水害	警戒レベル	1	地震	地震ハザードマップ	10
	マイ・タイムライン	2		地震対策	11
	洪水ハザードマップの使い方	3		地震時の安全確保	12
	全体索引図・避難所一覧	4	共通	避難所生活・各団体の役割	13
	詳細地図(①・②)	5～8		非常持出品・備蓄品	14
	避難先を考えよう	9		わが家の「防災・緊急情報」メモ...	裏表紙

警戒レベル3：不安な人・危険地域に住む人はためらうことなく避難しましょう！

警戒レベル	避難情報等		
5	 災害発生 又は切迫	きんきゅう あんぜん かくほ 緊急安全確保 (志木市発令) ※1	・ 氾濫発生情報 ・ 大雨特別警報 など
けいかい かなり ひなん ~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~			
4	 災害の おそれ高い	ひ なん し じ 避難指示 (志木市発令) ※2	・ 氾濫危険情報 ・ 土砂災害警戒情報 など
3	 災害の おそれあり	こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難 (志木市発令) ※3	・ 大雨警報 ・ 洪水警報 ・ 氾濫警戒情報 など
2	 気象状況 悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	警戒レベル 相当情報(例)
1	 気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)	住民が自主的に 避難行動を取るため 参考とする情報です (国土交通省・気象庁・県発表)

※1 警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

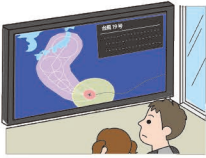
※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人にも必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

避難行動の判定について

ハザードマップで自宅がある場所に色が塗られている場合、災害の危険があるので、原則として立退き避難(自宅の外に避難)が必要です。下表の2つの判定項目の「はい」「いいえ」に答えて、とるべき行動を確認しましょう

判定項目		安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？	
		はい	いいえ
ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？	はい	警戒レベル3がでたら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう	警戒レベル3がでたら、志木市が指定している避難場所に避難しましょう
	いいえ	警戒レベル4がでたら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう	警戒レベル4がでたら、志木市が指定している避難場所に避難しましょう

災害時のあなたの行動を書きましょう。家族で決めた連絡方法、集合場所等は裏表紙のメモに書き込みましょう

警戒レベル	あなたの行動		
1		災害に対する心の準備を高める	雨風が強くなる前の行動 水位などの状況を把握して避難行動を開始する
2		自らの避難行動を確認する	
3		高齢者や障がいのある人は、危険な場所から避難	
4		危険な場所から全員避難(警戒レベル5の発令を待ってはいけません)	
5		すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です	身の安全を確保

いつ・なにをするかの目安

台風発生～洪水発生 の1日程度前	雨風が強くなる前に、避難準備をすませましょう テレビのニュースや裏表紙に掲載した緊急・災害情報サイト等で、気象状況等を確認しましょう	
洪水発生の日～ 3時間程度前	高齢者等は避難をはじめましょう 夜間の避難では、単独行動は避けて、水路の側や狭い道は通らないようにしましょう	
洪水発生の日～洪水発生	避難場所に移動して身の安全を確保しましょう 逃げ遅れたら、建物の高層階に移動するなど、 命を守るための最善の行動をとしましょう	

避難前に浸水が生じてしまった場合や外出することでかえって命に危険が及ぶような場合は、屋内の高いところなどへ速やかに避難しましょう(垂直避難)

洪水ハザードマップの使い方

自分自身の大切な命を守るために、いざというときに備えて準備をしておきましょう！

5～8ページの地図を見て、自分が住んでいる場所の浸水の深さ、避難する場所への経路を確認しましょう

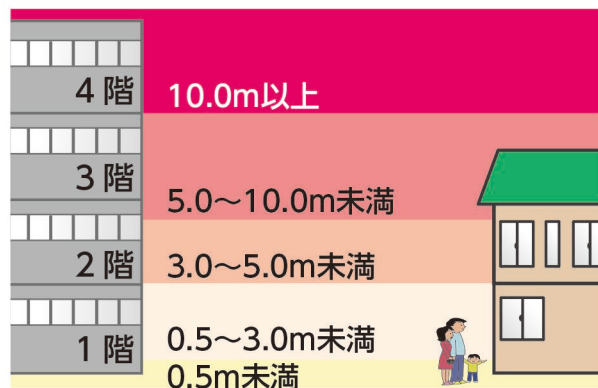
①自分が住んでいる場所

色ペン等で印をつけて確認



②浸水の深さ

地図上の色で浸水の深さを判断



③避難する場所の確認

地図上の「▲」マークがある箇所が指定避難所です



④避難する経路の確認

自分が住んでいる場所から指定避難所までの道のりをチェック



*志木市では避難者がどの避難所に避難しなければならない等の指定は行っておりません

その他知っておくとよい情報

洪水防護

自宅の水害対策として、地図に土のうBOXの設置場所を記載しています。
使用後の回収は行っていません。
処分は各自でお願いします。



道路冠水等の台風対策や浸水対策の際に市職員は止水板を使用

AED(自動体外式除細動器)

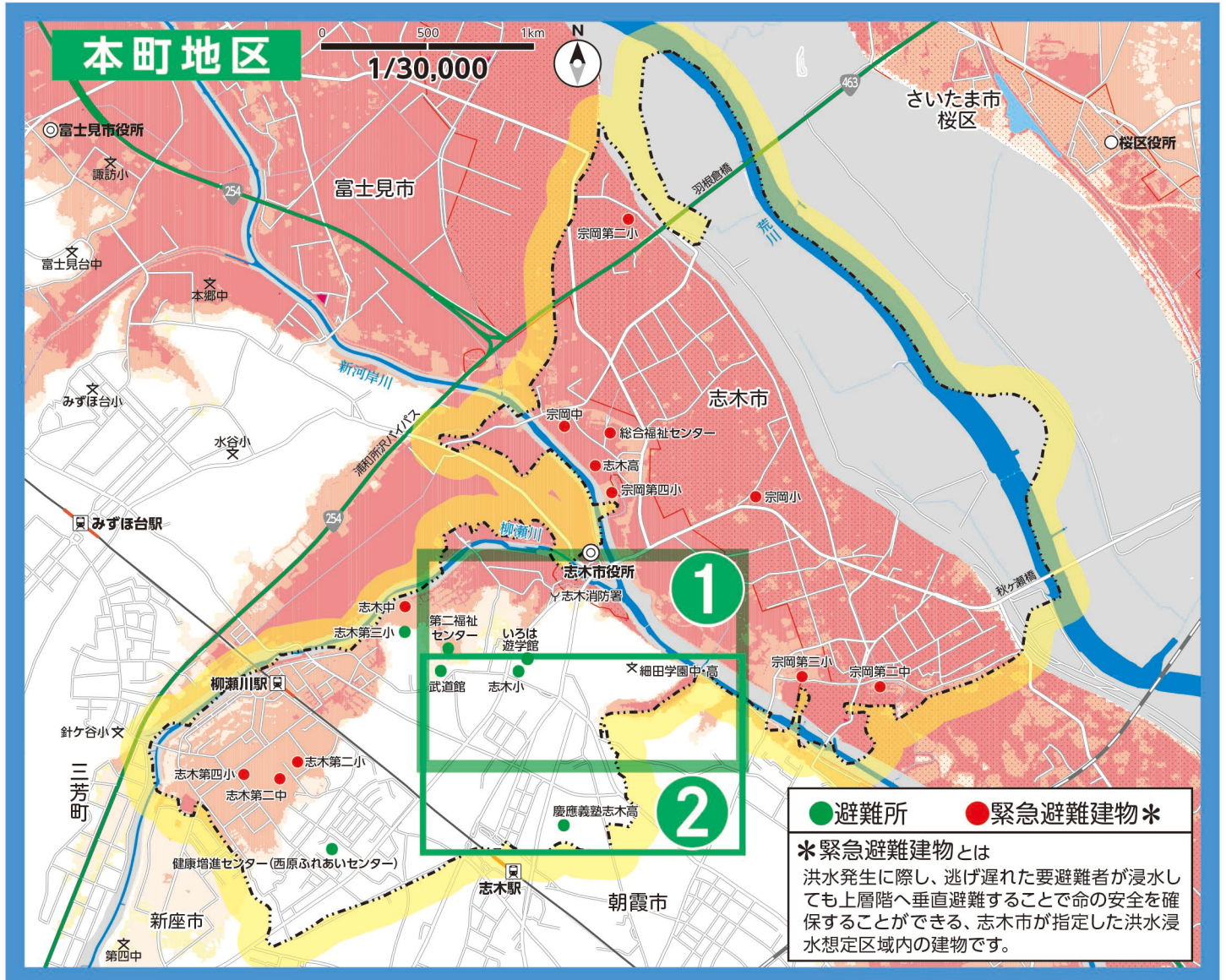
心停止の早期救命措置のためにAED(自動体外式除細動器)を設置しています。
地図にAED設置場所を記載しています。



大切な命を守るため、設置されたAEDを活用ください

本書地図では荒川で氾濫が起こった場合の浸水想定区域・水深を表しています

荒川水系荒川の洪水予報区間について、本書地図の洪水浸水想定区域図は、水防法の規定などにより定められた想定最大規模降雨（荒川流域で72時間の総雨量が632mm）による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示したものです。



〔測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 293-487号〕

© 2021 ZENRIN CO., LTD.

避難所一覧

●・・・避難所

避難所	所在地	地図	避難所	所在地	地図
1 いろは遊学館	本町 1-10-1	1-B-2 2-B-1	2 志木小学校	本町 1-10-1	1-B-2 2-B-1
3 慶應義塾志木高等学校	本町 4-14-1	2-C-3			

※内水氾濫のおそれがある場合、志木市内8小学校を優先的に避難所として開放します

13 ページの「避難所生活」も確認しましょう

「自分が住んでいる場所」に色ペンなどで印をつけましょう
「浸水の深さ」の欄に自分が住んでいる場所の浸水の深さをメモしましょう

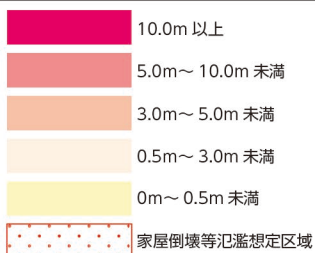
浸水の深さ

m

m

階相当

洪水浸水想定区域
浸水した場合に想定される水深



4階 10.0m以上

3階 5.0～10.0m未満

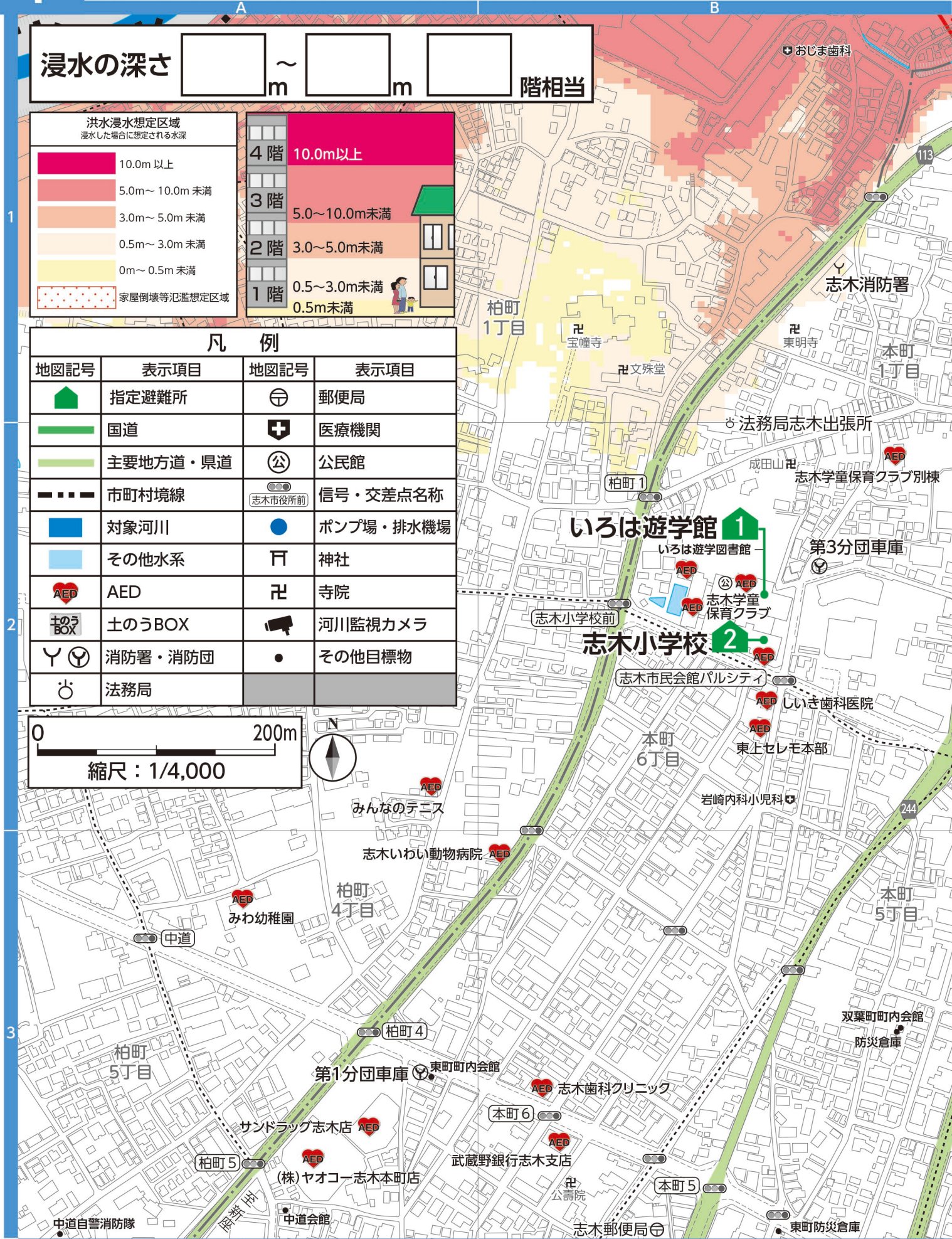
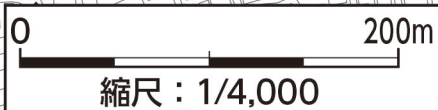
2階 3.0～5.0m未満

1階 0.5～3.0m未満

0.5m未満

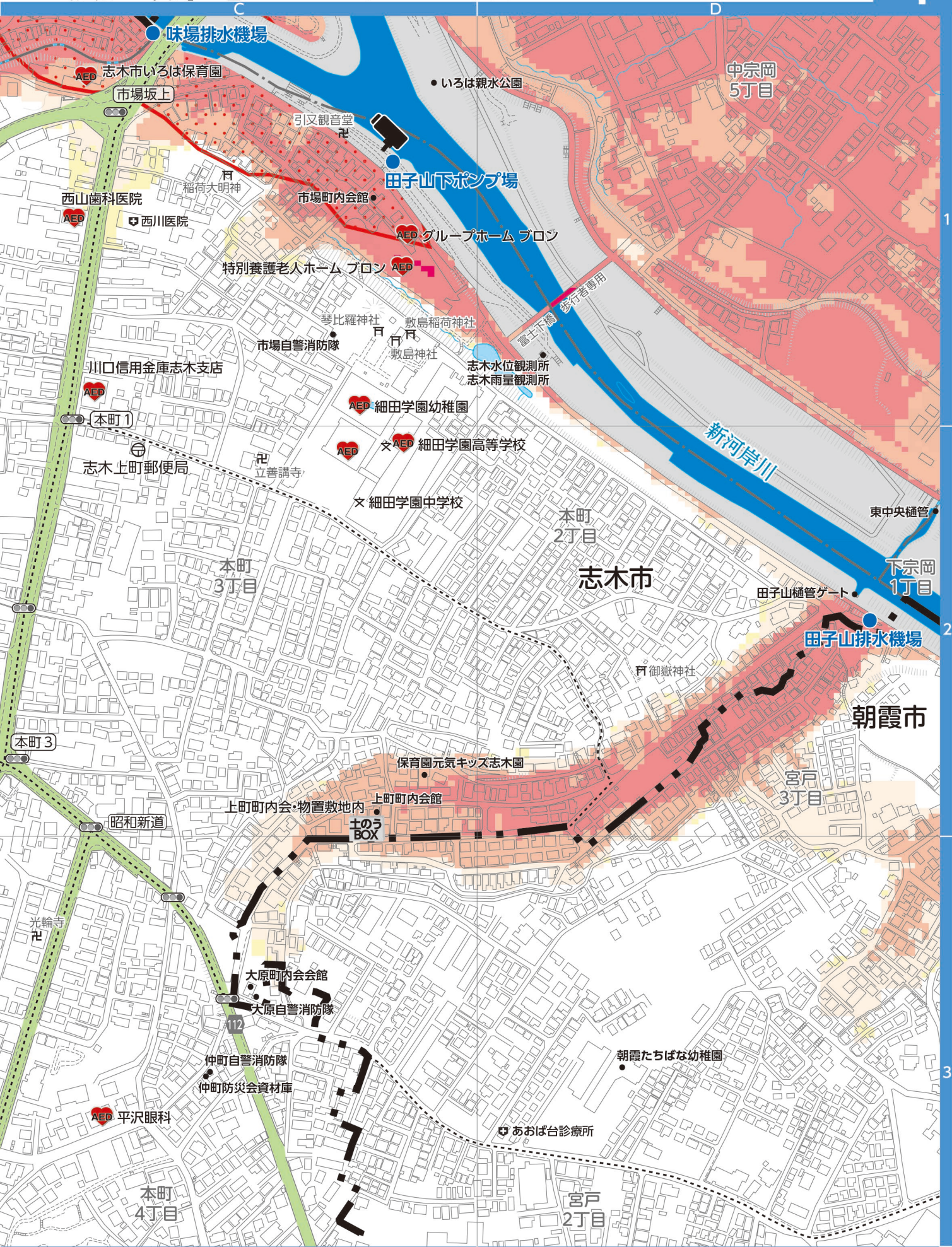
凡 例

地図記号	表示項目	地図記号	表示項目
	指定避難所		郵便局
	国道		医療機関
	主要地方道・県道		公民館
	市町村境線		信号・交差点名称
	対象河川		ポンプ場・排水機場
	その他水系		神社
	AED		寺院
	土のうBOX		河川監視カメラ
	消防署・消防団		その他目標物
	法務局		



「避難する場所」に色ペンなどで印をつけましょう
 「避難する経路」を色ペンなどでなぞっておきましょう

1

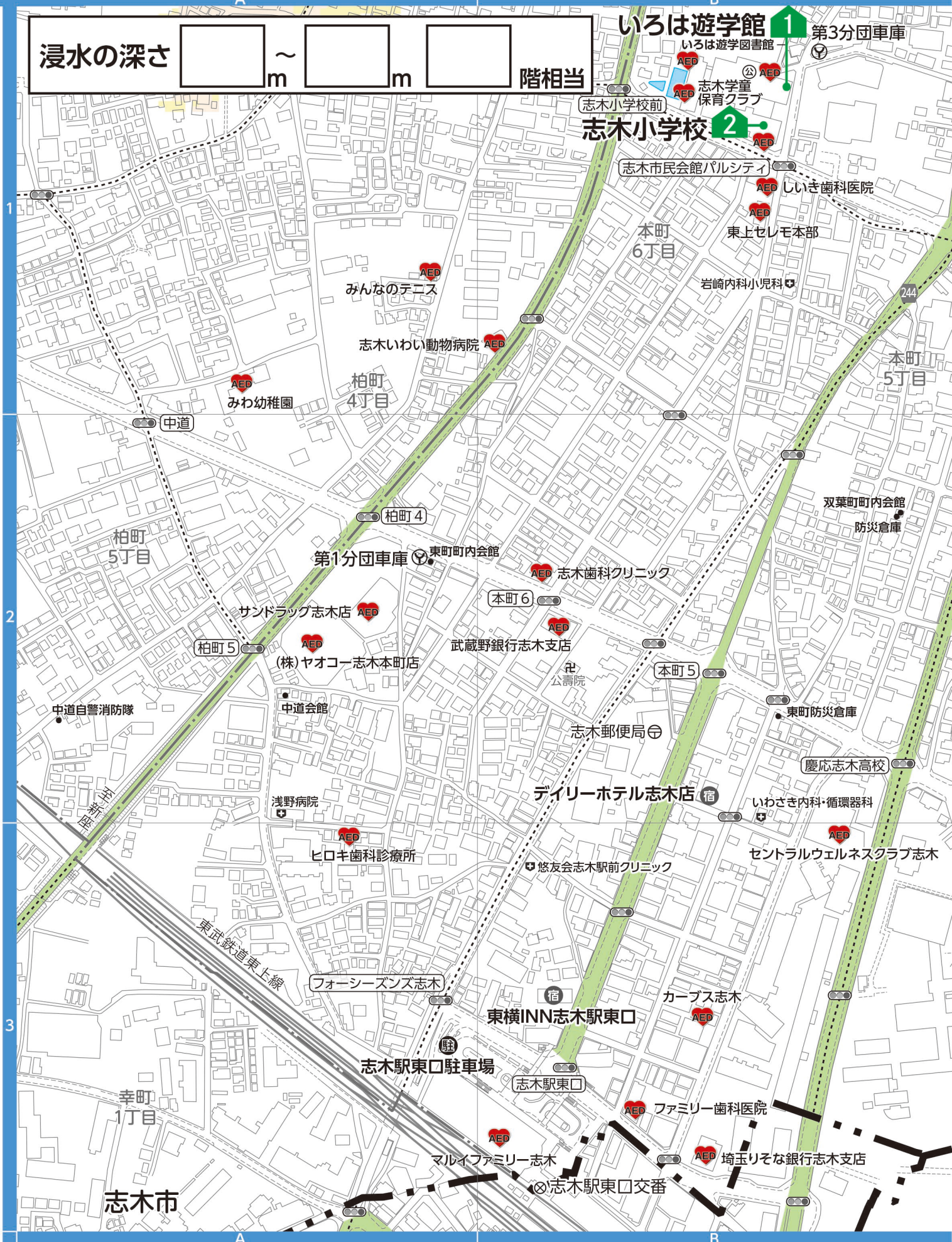


浸水の深さ

m

m

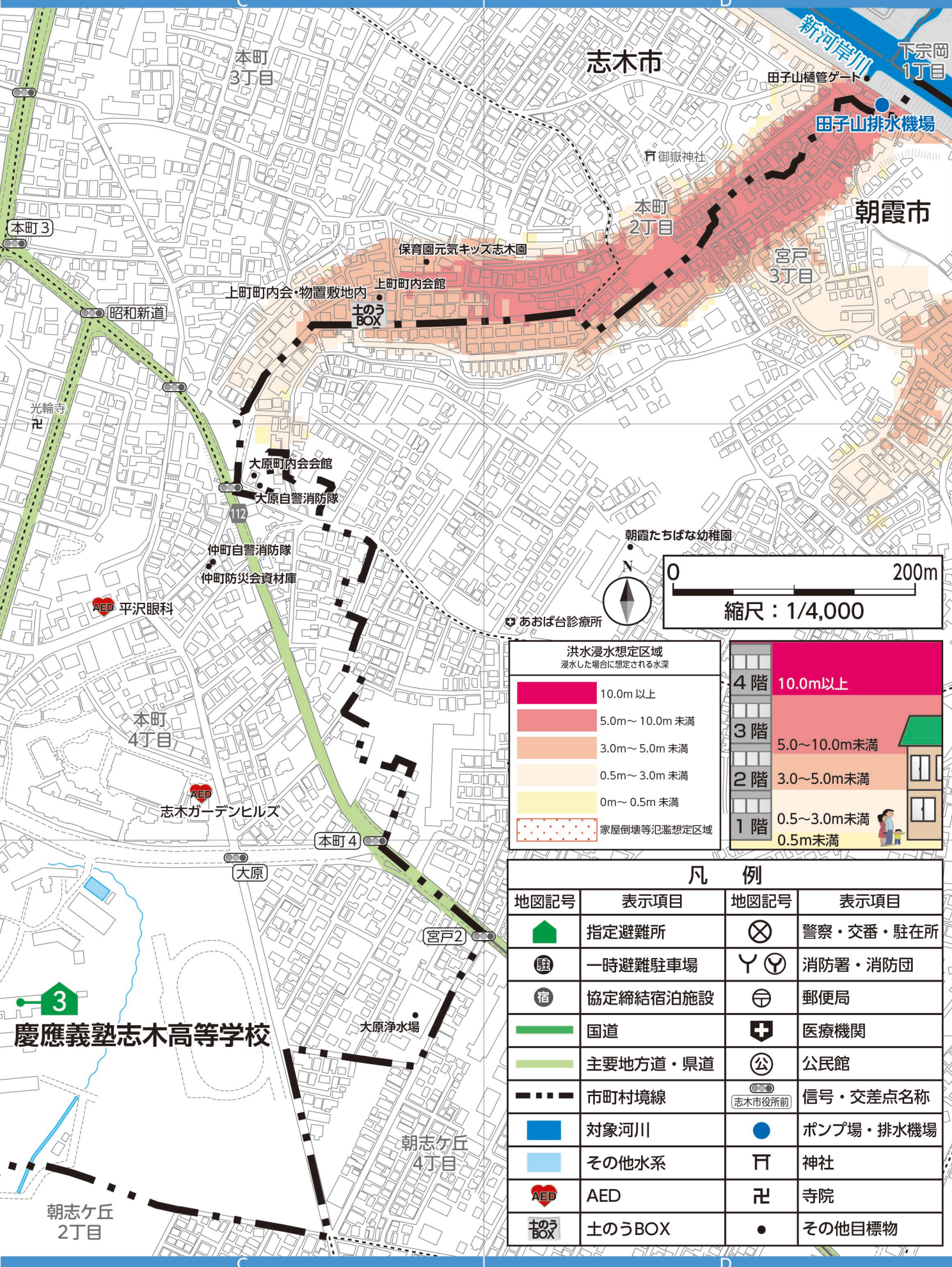
階相当



「避難する場所」に色ペンなどで印をつけましょう
「避難する経路」を色ペンなどでなぞっておきましょう

1
D

2



大きな災害が発生した場合に大切なことは、感染症のリスク回避も含め、安全な場所に避難することです。志木市が開設する避難所以外の場所へ避難することもお考えおきましょう

志木市が指定した避難所（小・中学校など）＊1

＊1 災害時、市からの要請に基づき、SOMPOケアラヴィーレ志木柳瀬川を一時避難場所とします

安全な親戚・知人宅への避難

ハザードマップ等で安全かどうかを確認しましょう
親戚・知人には普段から災害が発生したときのこと等、相談しておきましょう



安全なホテル・旅館への避難＊2

＊2 志木市は下記の2者と災害時における施設利用の協力に関する協定を締結しています
・デイリーホテル（志木店・新座店）・東横INN志木駅東口

在宅避難

詳細地図（①・②）で以下の「3つの条件」を確認して、自宅にいても大丈夫かを確認することが必要です

3つの条件

1. 詳細地図（①・②）に記載された（）の区域の外側である
2. 詳細地図（①・②）で確認した「浸水の深さ」より居室が高いところにある
3. 浸水しても水が引くまで生活できる、水・食料などの備えが十分にある

「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保する事も可能です

また、ライフラインが止まったときのことを想定するなどして、14ページにある備蓄品を準備するほか、食料品や飲料水などは十分な量を用意しておきましょう



備蓄品の例

食料品 缶詰やレトルト食品などの非常食は7日分以上を備蓄しましょう

飲料水 ひとり1日3リットルを目安に7日分以上を備蓄しましょう

簡易トイレ ひとり1日5回分を目安に7日分以上を備蓄しましょう



車中避難

駐車場の開放は、志木市から下記の施設（＊3）へ依頼し、施設が受け入れられると判断した場合となります。開放状況は志木市ホームページでご確認ください

＊3 ・株式会社ビバホーム（200台） ・創価学会志木文化会館（50台） ・生活協同組合コープみらい（56台） ・志木駅東口駐車場（135台）

車に関する注意事項



豪雨時の屋外の移動は車も含めて危険です

やむをえず車内泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認してください

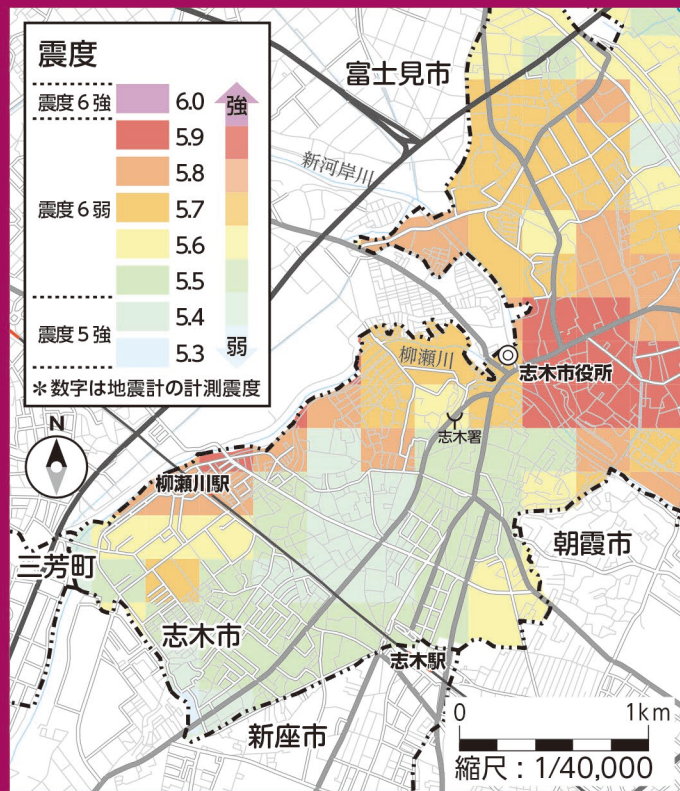
車は水深が深い場所を走行できるように設計されていません

大雨等の際には早めの避難を心がけることはもちろん、冠水した道路に安易に侵入しないこと、冠水路で車が動かなくなった場合には早めに脱出することが重要です

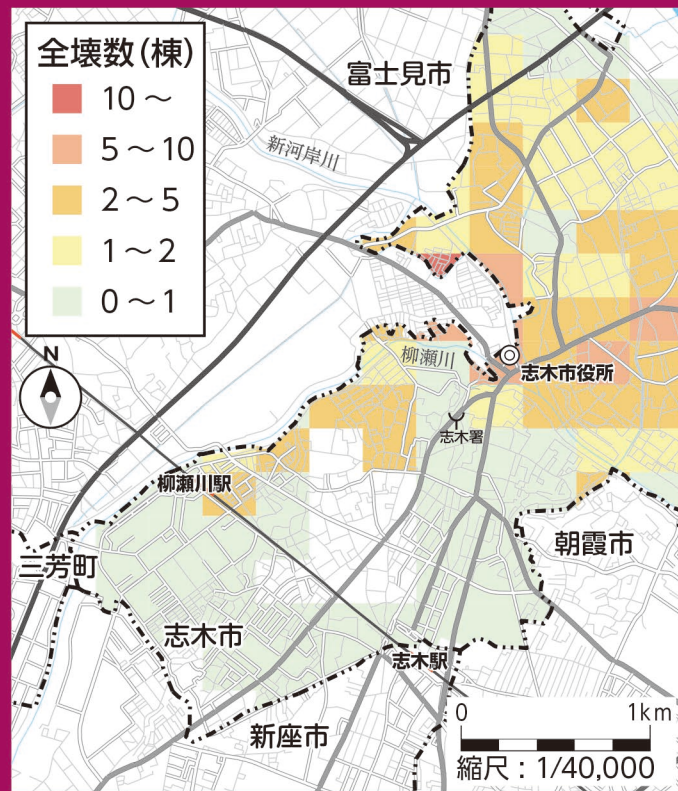
地震による揺れやすさ・建物倒壊や液状化の危険度を表記しています

このハザードマップは志木市で最も被害規模が大きく切迫性が高いと想定される「東京湾北部地震(マグニチュード 7.3)」をもとに作成しています

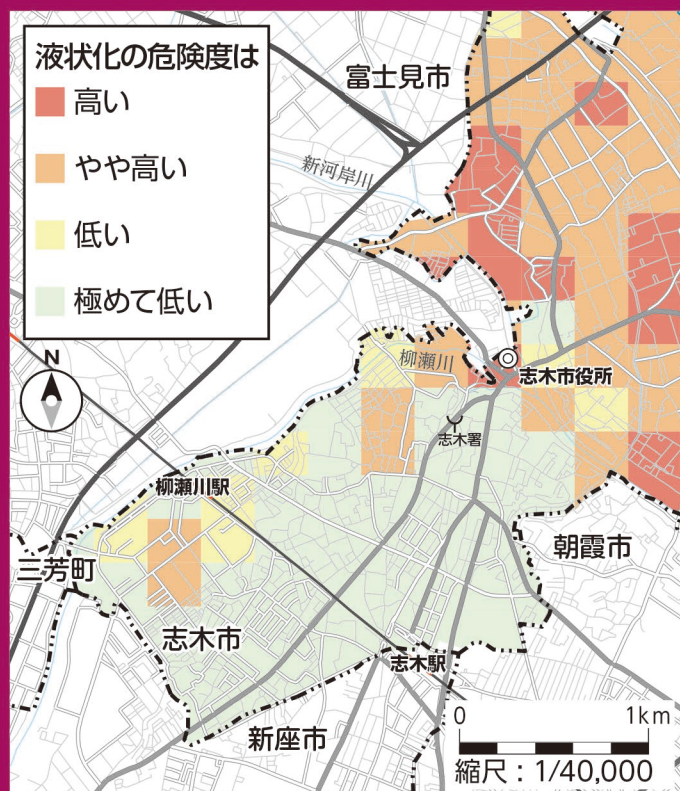
揺れやすさマップ



建物倒壊危険度マップ



液状化危険度マップ



<掲載のマップについて>

揺れやすさマップ

地盤の状況とそこで起こりうる地震の両面から地域の揺れやすさを震度(計測震度)として評価したものです

建物倒壊危険度マップ

揺れやすさマップをもとに、建物の構造、建築年次などの地域の社会的なデータをあわせることにより地震被害を計算して、建物の被害の度合いを示したものです

液状化危険度マップ

液状化の可能性の大小を判定して示したものです

地震ハザードマップに関する詳しい内容および震災時の避難所については、志木市のホームページでご確認ください



志木市
ハザードマップ



災害時指定避難所及び
指定緊急避難場所一覧

地震発生

1～2分

3分

5分

10分
▼
数時間
▼
3日

- ・自分の身の安全確保（机の下等に避難）
- ・ドア等を開けて、逃げ道を確保

- ・火元を確認（初期消火）
- ・家族の安全を確認し、非常持出品を準備
- ・靴をはく（ガラスの破片等でのケガ防止）

- ・余震に注意（さらに揺れる可能性に備える）*1
- ・漏電、ガス漏れの有無を確認
- ・隣近所の安否を確認

- ・災害情報の確認（テレビ、ラジオ等）*2
- ・出火防止対策（ガスの元栓を閉める、ブレーカーを切る等）*3

- ・隣近所と協力して、消火活動や救出・救護活動を行う
- ・生活必需品は自らの備蓄でまかなう

*1 「3分」以降も引き続き余震に十分注意しましょう

*2 「5分」以降も引き続き災害情報を確認しましょう

*3 ガスの元栓やブレーカーを戻す際は、ガスの臭いがしないか、電気製品が破損していないか等の確認を行いましょう

災害時の家族との連絡方法として、災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板などを利用しましょう



災害用伝言板（パソコン・スマホ用）



*体験利用日：「毎月1日及び15日」、「正月三が日」、「防災週間」、「防災とボランティア週間」

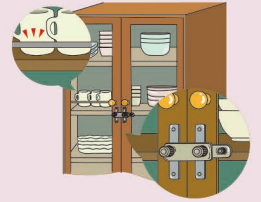
●家族と決めた連絡方法を裏表紙に書き込みましょう

災害時に適切な行動がとれるよう、普段から事前確認をしておきましょう

在宅時

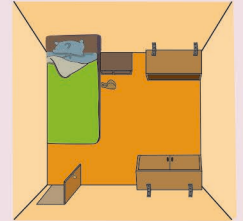
●転倒落下を防ぐなどの対策をしましょう

- タンス・本棚・冷蔵庫・テレビなどは金具等をつかって固定しましょう
- 食器棚は金具等での固定のほか、扉が開かないように留め金をつけましょう
- 窓ガラス等、ガラス部分には飛散防止フィルムを貼りましょう



●部屋のレイアウトをチェックしましょう

- 家具が部屋の出入口付近に転倒して、避難の妨げにならないようにしましょう
- 寝ている時に家具等の下敷きにならないよう家具等の位置や向きに注意しましょう
- 棚の上に重いものを置かない、割れやすいものは常に片付ける等の工夫をしましょう

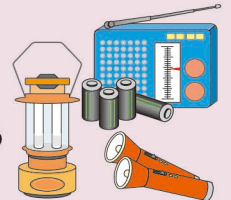


●寝ているときの災害に備えましょう

- 避難するときに必要な持出品等は、手の届くところに置いておきましょう
- 行動に不便が起きないよう、杖やメガネなどもすぐに手が届く場所に置きましょう
- 部屋にガラスなどが飛散したときに備えて、厚手の靴等を用意しておきましょう

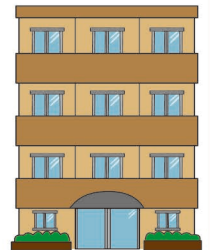
●停電に備えましょう

- リビングや寝室などに懐中電灯や LED ランタン、足元灯などを備えましょう
- 電池・手動充電式のラジオや予備の電池・モバイルバッテリーを常備しておきましょう
- 自宅を離れるときは、停電時であっても出火を防ぐためにブレーカーを切りましょう



●高層階にお住まいの方々へ

- ライフラインが止まったときのことを想定し、多めに備蓄品を準備しておきましょう
- 安全な避難に備えて、非常口等の建物内の避難経路をチェックしておきましょう
- エレベーターに乗っている場合は、すべての階のボタンを押して、すぐに降りましょう
閉じ込められてしまった場合、速やかに非常ボタン等で通報して待機しましょう
- 日頃から自主防災会・管理組合等からの防災に関する連絡を確認しておきましょう



外出時

●手荷物等で落下物から頭を守って避難しましょう

- 屋外では、近くの頑丈な建物に入るか、公園等の広く安全な場所に避難しましょう
- 屋内では、大きな壁や柱に身を寄せて、揺れがおさまるのを待ちましょう
- エレベーターに乗っている場合は、すべての階のボタンを押して、すぐに降りましょう

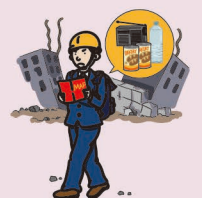


●乗り物に乗っている際も安全を確保しましょう

- 車を運転中の場合、道路左側に停車してエンジンを切り、車内で災害情報を確認しましょう
- 車を離れるときはドアをロックせず、キーも付けたままにしましょう
- 電車やバスの場合、停車の衝撃に備え、つり革やてすりにしっかりとつかまりましょう

●帰宅困難時に備えましょう

- 外出先で帰宅困難になったときに備えて防災グッズを携帯しましょう
- 発災後は各地で発生する危険に巻き込まれないよう、むやみな移動は控えましょう
- 電話やメールが不通になった際の連絡方法や集合場所を家族と決めておきましょう
- 保育園・幼稚園や学校に、災害が起きたときの対応を事前に確認しておきましょう



避難所生活

避難所ではお互いを思いやり、健康状態に配慮しましょう
手洗い、うがい、マスクの着用等、感染症拡大の防止には十分注意をしましょう

被災者

- 避難所に入る前に、発熱の有無など体調をチェックしましょう
- お互いのプライバシーを尊重しましょう
- 妊産婦、乳幼児、高齢者、障がい者、女性、外国人に配慮した生活を心がけましょう
- エコノミー症候群を予防するために、こまめに水分をとり、定期的に身体を動かしましょう
- 季節や気温に応じて、熱中症対策（水分をこまめにとる等）や低体温症対策（厚着をして保温する等）を行いましょう
- 手洗い、うがいをこまめに行いましょう
- 飛沫感染予防のため、常にマスクを着用しまししょう
- 3密（密閉・密集・密接）を回避しまししょう
- 体調変化を感じたら、すぐに避難所のスタッフに相談しまししょう



ペット

- 指定の屋外管理区域でケージに入れる等、避難所でのルールに従って管理しまししょう（避難所内で飼育はできません）
- エサやりや排泄物の清掃等は、飼い主が責任をもって行いましょう



地域を支える地域住民による団体

自分の安全が確保された後に、近隣がお互いに助け合って地域を守ること（共助“きょうじょ”）が重要です。**頼りになるのは地域の皆さんです**

町内会・自主防災組織	自分たちの地域は自分たちで守るという意思を持ち、火災、地震、風水害等による被害に備えます
自警消防隊	市内 16 町内会に自警消防隊があり、火災時の後方支援や、災害時等の救出・救護を行います

※民生委員・児童委員は、日頃の見守りや訪問活動を通じて、支援の必要な高齢者や障がい者等に必要な支援が届くよう配慮します

○災害への備えは、地域住民と地域の団体が協力して取り組むことが大切です

○地域の町内会へ入って日ごろから人と人とが交流し合い、いざというきのために備えましょう！

チェックリスト ☒

非常持出品

貴重品類
☐ 印鑑
☐ 現金
☐ 預金通帳
☐ 免許証
☐ 保険証
避難用具
☐ 非常用ライト
☐ 携帯ラジオ
☐ 予備の電池
☐ モバイルバッテリー
☐ ヘルメット
☐ 防災ずきん
生活用品
☐ 軍手
☐ ライター
☐ 缶切り
☐ ろうそく
☐ ナイフ
☐ 携帯用トイレ
☐ タオル
☐ ティッシュ
☐ ウェットティッシュ
☐ 筆記用具
☐ メモ帳

救急用具・衛生用品

☐ 救急箱
☐ 処方箋・お薬手帳のコピー
☐ 常備薬
☐ 洗面用具
☐ マウスウォッシュ
☐ 使い捨てカイロ
☐ 除菌スプレー
☐ マスク
☐ 生理用品
☐ おむつ

非常食

☐ 飲料水
☐ 乾パン・チョコ・缶詰等

衣料品

☐ 下着・靴下
☐ 長袖・長ズボン
☐ 防寒ジャケット
☐ 雨具

「水のう」で下水の逆流を防止

豪雨の時など、急激な水位上昇によってトイレや風呂場の排水口などから下水が逆流することがあります

ビニール袋に水を入れた「水のう」で逆流を抑える効果があります



備蓄品

食料品

☐ 飲料水
☐ 米
☐ 缶詰
☐ レトルト食品
☐ スープ
☐ 調味料
☐ 麺類
☐ 菓子類

燃料

☐ 卓上コンロ
☐ ガスボンベ(予備)
☐ 固形燃料

生活用品

☐ 毛布・タオルケット
☐ 寝袋
☐ なべ・やかん
☐ 簡易食器(割り箸等)
☐ ラップ・アルミホイル
☐ 丈夫なビニール袋(40～50ℓのごみ袋など)
☐ 簡易トイレ
☐ バケツ
☐ 工具類
☐ 新聞紙
☐ 生理用品・おむつ

ローリング・ストックを活用しましょう!

常に一定量の飲料水や食料等を家に備蓄しておく方法です

普段から少し多めに飲料水や食料等を購入して古いものから飲食し、飲食した分だけ後から買い足します

備蓄品を無駄にせず、災害時も普段から食べなれた食品を非常食として食べることができます



わが家の「防災・緊急情報」メモ

わが家の連絡先 志木市の市外局番…048

氏 名	電話番号・メールアドレス	会社・学校	血液型	持病・アレルギー	常 備 薬	かかりつけ医療機関

【メモ】 ※書ききれなかった内容や、知ってほしい情報(介護情報・救急隊員への伝言など)をお書きください。

家族で決めた集合場所

- ・第1候補 ()
- ・第2候補 ()
- ・第3候補 ()

家族で決めた連絡方法

- ☐ 171<災害用伝言ダイヤル> ☐ web171<災害用伝言板>
- ☐ 携帯電話<災害用伝言板>(会社名)
- ☐ その他<SNS等>()

防災関連情報 安全に行動するために、こまめに災害情報を収集しましょう

志木市防災行政無線テレホンサービス

災害時に防災行政無線の放送が聞こえにくい場合は、防災行政無線テレホンサービスをご利用ください

0800-800-0318

➡通話料無料

➡一部の IP 電話から利用できない場合があります。その場合は、有料ダイヤルをご利用ください

048-472-0275

志木市メール配信サービス

防災行政無線の放送内容や避難情報、気象情報は、メール配信による情報提供を行っています



志木市避難所混雑状況等のリアルタイム配信

各避難所の位置情報、災害発生時の避難所の開設状況や混み具合を地図上で確認することができます



志木市緊急・災害情報サイト

災害時に必要な情報を随時更新していきます



志木市公式X(旧ツイッター)

メール配信内容や災害情報を配信しています



志木市河川監視カメラ

河川の様子を監視カメラで確認できます



志木市ホームページ



YouTube